ワイルド・ブラック／少年の黒い馬（1979）

THE BLACK STALLION

メディア 映画
ジャンル ファミリー　アドベンチャー　ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 117分
初公開日 1980/12/20
公開情報 ＵＡ

【解説】

コッポラ指揮による児童向け（Ｇ指定）の枠に収まりきらない芸術性の高さを持ったファミリー・ピクチャー。

１９４６年、父とともに北アフリカ洋上にあった少年アレックは、アレクサンダー大王が乗ったという黒馬の生まれ変わりのような荒馬が、同じ船に積まれたのを見た。その晩遅く、船は火事と嵐に見舞われた。少年は父と離れ、海に投げ出される。だが、荒馬が彼を助けた。流れ着いた孤島で、彼はブラックと名付けたその馬と、徐々に友情を育んでいった。やがて、半年も過ぎた頃、彼らは漁船に助けられアメリカへ戻る。が、少年の家の狭い庭ではブラックは不服で、駆け出して町を通り抜け、郊外の、今は引退した調教士ヘンリー（ルーニー）の牧場に拾われ、そこでアレックはヘンリーとともに彼を競走馬として鍛え上げていく事になる……。

商業映画である以上、大マッチ・レースを頂点にした後半の盛り上げ方はどうしてもついて回るが、しかし、Ｃ・バラードの演出はそのあたりもごく控えめで、実にナチュラルな映像詩としての全体の雰囲気を壊さず運んでいく。とにかく、少年と馬の孤島でのサバイバル生活を、音楽と映像の力だけでつづっていく部分が圧巻で、その南洋の自然美に再び戻っていくエピローグがまた感動的。少年が馬と戯れながらいつの間にかその背に乗れるようになるのを、海面下から彼の足だけを捉えてみせるのにも感心した。そして、アルベール・ラモリスの「白い馬」そっくりの砂浜を駆ける少年と馬のイメージのもたらす解放感……。日本では劇場未公開の「ワイルド・ブラック２／黒い馬の故郷へ」に続く。この美しい絵をものにした撮影のデシャネルは、後に同じコッポラのもとで大人のメルヘン「マジック・ボーイ」を監督した。

【クレジット】

監督	キャロル・バラード	Carroll Ballard
製作	フレッド・ルース	Fred Roos
	トム・スターンバーグ	Tom Sternberg
製作総指揮	フランシス・フォード・コッポラ	Francis Ford Coppola
原作	ウォルター・ファーレイ	Walter Farley
脚本	メリッサ・マシスン	Melissa Mathison
	ウィリアム・Ｄ・ウィットリフ	William D. Wittliff
	ジャンヌ・ローゼンバーグ	Jeanne Rosenberg
撮影	キャレブ・デシャネル	Caleb Deschanel
音楽	カーマイン・コッポラ	Carmine Coppola
出演	ケリー・レノ	
	ミッキー・ルーニー	Mickey Rooney
	テリー・ガー	Teri Garr
	クラレンス・ミューズ	Clarence Muse

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ホイト・アクストン	Hoyt Axton
マイケル・ヒギンズ	Michael Higgins

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.